

## 「ながら見守りタイ！」活動で使用するビブスの代用品について

活動者が市民から一目で認識される視認性の高さが不可欠です。

反射素材の使用など、視覚的に明確に目立つ工夫が必要でしょう。

また、装備は日常生活に自然に馴染み、動きを妨げないデザインであることが重要で、これによって参加者の着用意欲が維持され、活動の継続性が確保されると思います。

加えて、夜間や悪天候でも十分に視認性を保てる素材や形状を選ぶことが求められます。

さらに、苫小牧の地域性や文化を反映したデザインにより、住民の誇りや一体感を生み出すことが、防犯活動への参加促進と効果向上につながると考え、以下提案します。

### 代用品例

#### 1. 反射素材キャップ・帽子

視認性を保ちつつ普段使いでき、夜間の安全も担保。「防犯」と大きく書いているメッシュキャップは着用者を制限する。防犯活動者の裾野をひろげる。

#### 2. 反射素材リストバンド・アームバンド

軽く邪魔にならず、腕の動きで視認性向上に有効。中高生が身につけ防犯活動の主体者となると同時に、夕方以降の彼らの安全確保にも役立つ。\*滋賀県警の例

#### 3. 反射素材バッグ・トートバッグ

日常的に使えて目線を集めやすく、防犯効果も期待。女性が持ちやすく、活動者を増やせる。「防犯意識」が継続されて高まり、それが「行動」に結びつくと思います。



（左）の防犯反射リストバンドを身につける学生防犯ボランティアのメンバー＝大倉町

ご参考まで。